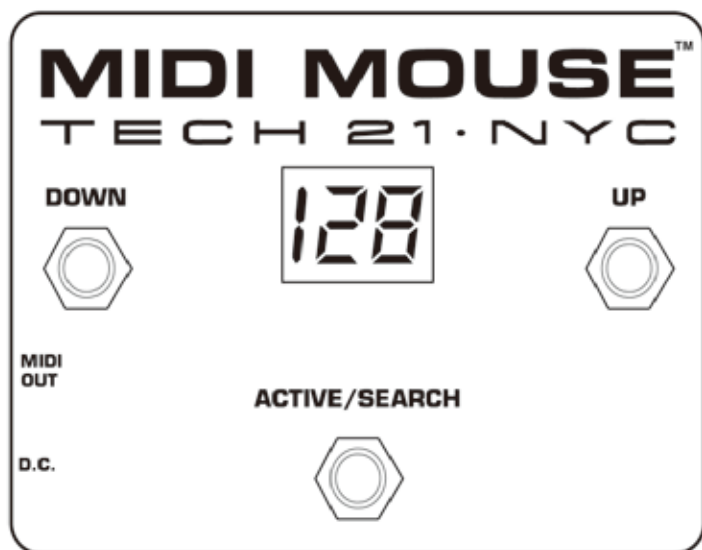


TECH 21



USER GUIDE

1 はじめに

この度は TECH 21 製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本製品の性能を最大限に引き出すためにご使用前にかならず内容をよくお読みください。
MIDI マウスは、コンパクトでシンプルな操作の MIDI コントロールユニットです。おなじみの「ストンプボックス」形式で、頑丈なアルミダイキャスト筐体に、3つのカスタムアクチュエーターフットスイッチを搭載。大きな LED ディスプレイは、日中でも暗いステージでも、あらゆる角度で高い視認性を実現。シンプルなデザインながら、16の MIDI チャンネルの 128 のパッチへのフルアクセスが可能です。バッテリー駆動で約 2,000 回のスイッチングが可能なので、新たな電源の配線は必要ありません。MIDI ケーブルを介してファンタム電源供給可能で、標準的な電源アダプタによっても駆動可能です。更に現場での使いやすさも特徴の一つです。たとえば、プリアンプとエフェクトプロセッサがある場合は、小さな筐体と手頃な価格なので、2つの MIDI マウスを使用してそれぞれを独立して制御できます。スタジオでも、MIDI マウスはコンソールスペースを取りません。あなたはミキサーから離れることなくリモートプログラムの変更を加えることができます。ステージでは、MIDI 照明システムのパターンや配置を制御することもできます。

2 フットスイッチ

ACTIVE/SEARCH フットスイッチ:

ACTIVE / SEARCH では、2つのモードを切り替えることができます。
ACTIVE モードでは、MIDI OUT ポート MIDI プログラムチェンジ情報が送信されます。
SEARCH モード（点滅）では、数値表示だけが変わります。MIDI 情報は送信されません。

UP フットスイッチ:

プログラム番号を一つずつ増やします。

DOWN フットスイッチ:

プログラム番号を一つずつ減らします。

3 パワーサプライとの使用

ACTIVE モード時:

LED 数値表示は点灯したままです。UP/DOWN フットスイッチを押すと、プログラム番号を 1 つずつ増減して選択できます。アクティブモードでは、MIDI プログラムチェンジ情報は即座に MIDI OUT ポートから送信されます。

SEARCH モード時:

LED 数値表示が点滅します。UP または DOWN フットスイッチを押したままにすると、プログラムチェンジ情報を送信せずに、目的の番号までスピーディに移動できます。もう一度アクティブ / サーチフットスイッチを踏むと、アクティブモードに戻り、即座に新しい MIDI プログラム番号を MIDI アウトポートから送信します。

4 9V 電池との使用

9V 電池使用時、バッテリーの寿命節約のため LED ディスプレイは 10 秒間無操作で自動的に消灯します。MIDI マウスを起動して新しい命令を送信するまで、プログラムは変更されません。起動するには、3つのフットスイッチのいずれかを押します。最後に電源を切ったときのモードと送信したい新しい指示に応じて、次の項のいずれかを実行してください。

ACTIVE モード時:

アクティブモードでディスプレイが消灯したとき、アクティブ / サーチのフットスイッチを押すと同じプログラム番号で起動します。

(例) プログラム 10 で電源が切れた場合、プログラム 10 - アクティブモードで起動します。ただし、「スクリーンセーバー」モードから直接 UP/DOWN フットスイッチを踏むと、プログラム番号が増減します。(プログラム 10 で電源が切れた場合、プログラム 11 またはプログラム 9 へ) 起動時、プログラムチェンジ情報は即座に MIDI OUT ポートを通して送信されます。

4 9V 電池との使用

SEARCH モード時：

サーチモードでディスプレイが消灯したとき、アクティブ / サーチフットスイッチを押すと、同じ場所に戻ります。MIDI プログラムチェンジ情報は送信されません。検索モードは、プログラムの変更を事前に設定するときに特に便利です。

例：プログラム 10 でプレイ中、ソロのためにプログラム 20 をコントロールしたい場合、ACTIVE / SEARCH フットスイッチで本機をサーチモードにし（LED 点滅）、プログラム 20 まで UP/DOWN フットスイッチで移動してそのまま 10 秒間無操作にします。まだ新しい情報を送信していないので、プログラム 10 でプレイすることになります。この時点で、2 つの選択肢があります。ACTIVE / SEARCH フットスイッチを一度押すとプログラム番号を示しています - プログラム 20 が点滅しています。アクティブ / サーチのフットスイッチをもう一度押すとアクティブモードになり、点滅しているプログラム番号 - プログラム 20 が送信されます。または、UP/DOWN フットスイッチを押すと瞬時にアクティブモードに変わり、最後に点滅していたプログラム番号を即座に送信します（プログラム番号を増減することなく）。

注：電源アダプターを使用する際も、基本的に同じ手順に従ってプログラム変更を事前に設定できます。サーチモードでプログラム番号（プログラム 20）までスクロールした後、ディスプレイは点灯したまま点滅します。プログラム番号を入力する準備ができれば、アクティブ / サーチフットスイッチ（のみ）を押してアクティブモードに戻り、MIDI OUT ポートからプログラムチェンジ情報を送信します。

5 MIDI チャンネル

プログラムチェンジ情報をやり取りするには、本機と受信側の MIDI ユニットを同じ MIDI チャンネルに設定する必要があります。（もし受信ユニットが OMNI であれば、それは 16 の MIDI チャンネルのどれでもそして全部の MIDI プログラムチェンジ情報を受信可能です。そのため、本機のチャンネルを変える必要はありません。）MIDI マウスは、出荷時にチャンネル 1 に設定されています。チャンネル設定を標準の選択可能な 16 の MIDI チャンネルのいずれかに変更するには

1. ACTIVE / SEARCH スイッチをサーチモードにします（プログラム番号が点滅）。
2. UP/DOWN フットスイッチを同時に押します。（現在の MIDI チャンネル番号がゆっくり点滅します。）
3. 目的のチャンネルに応じて、UP または DOWN フットスイッチを踏みます。
4. ACTIVE / SEARCH フットスイッチを押して、新しく選択したチャンネル番号を「保存」し、設定開始時のプログラム番号に戻ります（サーチモード）。

9V バッテリーの残量のある限り、チャンネル設定は保持されますが、残量がなくなった場合や、アダプターのみで使用される場合は、電源がなくなった時点で、チャンネル 1 へ設定が初期化されます。

6 ファンタム電源

MIDI マウスは、標準の 5 芯 / MIDI ケーブルのピン 1 と 3 を通して、ファンタム電源を供給可能です。ファンタム電源サポートの機能と仕様については、プロセッサの取扱説明書を参照してください。電源は、DC 8~15 V、極性は任意です。

7 電源について

- ◆ 電池は 9V アルカリ電池（別売）を使用してください。取り付けするには、単にバックプレートを取り外して取り付けます。電池が消耗すると、LED ディスプレイに“Lo”が表示されます。LED ディスプレイの消費電力：約 15mA
- ◆ DC 電源のみを使用してください。本体の損傷の恐れがあり保証対象外となります。仕様：9V DC100mA 以上センターマイナス。